

令和7年度第3回森町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和8年2月9日(月) 14:30～

場 所 森町公民館 大会議室

出席者 別添委員会出欠名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

2. 会長挨拶

- ・長瀬副町長より挨拶。

※森町地域公共交通会議設置要綱（以下、要綱という。）第5条第2項により、会長は森町副町長が務める。

3. 報告事項

① 利用状況集計報告について

- ・ 別途資料により説明

- ・ 質疑応答なし

② 森町地域公共交通バス停留所看板の設置について

- ・ 別途資料により説明

【深川委員】 一部土地所有者から許可が得られなかった、とあるが、どのような理由か。

【事務局】 設置場所が狭隘など、安全性の確保が得られなかったことが主な要因である。

【館下委員】 確認となるが、概ねの箇所に停留所が設置された認識で良いか。

また、除雪対応等は、どのようになっているか。

【事務局】 設置場所の安全性が確保できないなど、の課題がない箇所を除いて、もりっくる路線の停留所は概ね設置が完了している。

基本的には道路管理者が実施しており、町道などは町職員が対応している状況である。

③ 森町地域公共交通バスアンケート調査結果について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 回数券の要望は住民からも聞いているため、ドライバーの負担軽減も含めて、ぜひ実施いただきたい。

【事務局】 住民ニーズとしても兼ねてより、寄せられている要望であるため、後ほどの議題の中で、ご説明させていただく。

【館下委員】 調査票の設計の話となるが、値上げ前提で調査を実施した状況であるか。

他自治体では、運賃が安いことで、行政や事業者が負担を多くしていることを懸念するケースもあるため、必要に応じて値上げ等の対応も検討・実施いただきたい。

【事務局】 回答として、現行運賃と同額の金額を回答として挙げていただいている方は、現状維持の層と認識している。

現状、もりつくるの収支率は5%であることから、住民ニーズ等も踏まえながら、値上げの実施は慎重に検討したい。

4. 議 事

① 森町地域公共交通バス回数券の導入計画（案）について

- ・ 別途資料により説明

【伊藤委員】 本案に賛成である。

【館下委員】 町への収入は、どの時点で発生するか。

【事務局】 販売時点で収入が発生することとなる。

【伊藤委員】 回数券の使用枚数とバス利用者数は、別々にカウントするか。

【事務局】 バス利用者数は、現金も含めたカウントとなるため、それぞれでカウントする。

【宮本委員】 300円券を、100円区間で使用した場合、釣り銭等の対応はあるか。

【事務局】 釣り銭対応は実施しない予定のため、現金や100円券を用意いただきたいと考えている。

【館下委員】 100円区間であるが、釣り銭はいらないので300円券で支払うケースが想定されるため、確認できる体制を確保していく必要がある。

【事務局】 運行会社と調整をして、把握できるように努める。

- ・ 本会議をもって、当該議案について承認

②NPO法人まちづくり支援センター 代表理事 為国 孝敏 氏 総括

- ・ 森町は利用者数が一定数確保されているので、細かなニーズにどう対応していくかが重要なフェーズとなってきた。
- ・ 一方で、細かなニーズに対応するためには、財政面が関わってくるため、お金をかけてもニーズに応えるのか、一定の財政の中でニーズに応えていくのか、を判断していくことが重要である。
- ・ あまり細かな対応を実施してしまうと、タクシーとの役割が重複してしまうため、役割分担は明確にする必要がある。
- ・ 回数券の部分は、印刷代も結構な金額となるため、
- ・ 会議委員の方にも協力をいただいて、支払いの方法や乗り方を含めて、乗車までのハードルを下げるような練習機会が重要となってくる。
- ・ 今後、運行していく中で、ニーズにどこまで対応していくかは協議会の場でも協議が必要のため、まちの状況を皆様にぜひ教えていただきたい。

- ・停留所を設置したことは良いと思うが、風雪などに配慮した待合環境の構築も重要となってくる可能性がある。

5. その他

【中澤委員】 交通事業者が、交通空白地域に対して、独自に路線運行等を実施することは可能なのか。

【館下委員】 町から課題感として示していただき、課題への対応策として、交通会議を通して議論していただければ、スキームとしては問題ない。

【為国先生】 タクシー会社は、法的な縛りがきつく、自由度が低いケースが多いため、制度が見直されると、より動きやすいと思っている。

現状は、喫緊で対応を求められている事案はないと認識しているが、タクシー会社の持続可能性を、どのように確保していくかが重要である。

【館下委員】 タクシー運賃は、協議運賃でも実施できるため、まずは、交通会議に課題感を挙げていただくことが重要と思う。

森町は他自治体と比較して、モビリティは充実しているため、本会議での議論が非常に重要である。

【事務局】 砂原線について、令和8年4月から本格運行を予定していたが、今年度途中から車両サイズが変更になったこともあり、令和8年9月までは実証運行として取り扱う旨を、ご報告させていただく。

【事務局】 次回の会議は、6月を予定している。

6. 閉会